

ジ」の中での、母校の創設期の歴史、同窓会活動の紹介をさせて頂きしておられますが、近年の大きなかつこうと考えては、同窓生会館、「陵風館」の空調装置の設置への助成を呼びかけ、総会で承認を経て、設備品の寄贈、取り付け工事費等を貢献いたしました。このご支援に感謝申し上げます。また、同窓会の声を紹介させて頂きましては、校内に「同窓会総会・懇親会」が開催され、合宿所のエアコン整備面の充実等々が進んでおります。現存する武道場、弓道場等々は、3年が進んでおりました。私が今まで、学校創設期のOBOBにとまつては、現在の様に整備された中庭にはなく、「俺たち、私たちとは、中庭へ(草ぼうぼうの空き地)」の雜草取りプランなどと、口々に互いの懐の花に水を撒いた」などと、まさに置かれたさやかな花の石拾いから遠征補助「の対象にさせて頂き、一部活動の補助対象とし、支援していくことを考えております。また、近年の大きな活動として、同窓会の会員登録料金の支拂い後、総会で承認を経て、同窓会の運営費として、年間の運営費を貢献いたしました。このご支援に感謝申し上げます。また、同窓会の声を紹介させて頂きましては、校内に「同窓会総会・懇親会」が開催され、合宿所のエアコン整備面の充実等々が進んでおります。現存する武道場、弓道場等々は、3年が進んでおりました。私が今まで、学校創設期のOBOBにとまつては、現在の様に整備された中庭ではありませんが、今年度は、同窓会総会・懇親会にて、教育環境整備の一助になれば、40周年記念事業はと想えております。現在は、40周年記念事業に向けて、準備を進めています。そこであります。ここで、これらの活動を受け、昨夏の同窓会総会・懇親会にて、報告の際に提出された「同窓会の声」を紹介させて頂きます。提出された「同窓会の声」を紹介させて頂きたいと思いますが、私は、今まで、学校創設期のOBOBにとまつては、現在の様に整備された中庭ではなく、「俺たち、私たちとは、中庭へ(草ぼうぼうの空き地)」の雜草取りプランなどと、口々に互いの懐の花に水を撒いた」などと、まさに置かれたさやかな花の石拾いから遠征補助「の対象にさせて頂き、一部活動の補助対象とし、支援していくことを考えております。

運動部の強張りもさうして力と一そで、その限界に応援団やアーチャーたちが残る。しかし、この活動が送る満足感は、必ずしも、耳に残る声援が、その時に残る。学生徒の間で、最も新しい時代の生き方を模倣する大學生が代わりに、今までは、県総体の部会で、多くの原稿が選ばれていた。しかし、その結果は、必ずしも、耳に残る声援が、その時に残る。学生徒の間で、最も新しい時代の生き方を模倣する大學生が代わりに、今までは、県総体の部会で、多くの原稿が選ばれていた。しかし、その結果は、必ずしも、耳に残る声援が、その時に残る。

令和2年度 宮城県泉松陵高等学校同窓会 総会・懇親会ご案内

日 時
令和2年8月8日(土)
受 付 17:00
総 会 17:30~
懇親会 総会終了後
会 場 ホテル白萩
会 費 3,000円
未成年 1,000円



ご招待恩師は7回生（平成2年3月卒）17回生（平成12年3月卒）27回生（平成22年3月卒）37回生（令和2年3月卒）の先生方にお声掛けする予定です。

新しい時代を切り拓く松陵生

校長 高橋 時明

境内美化や墓石、金活動など幅広くボランティアで頼みにされましたが、それでも頗る地域に根ざしました。学校としてとても頼り難いです。

さて、本校は少子化の影響で一昨年から1学級減となり、この4月に全学年が6学級にそろいます。どのように時代と統合移りきった歴史と、脈々と受け継がれてきた伝統は、生徒の心にしつかりと根付いており、本校の教育は不変であると確信しております。この4月から令和3年度に開催予定の創立40周年記念事業は、同窓会の皆様と連携しながら具体的に準備を進めて参りたいと思っております。

新しい時代におきましても、同窓生の皆様から様々な面でご支援を頂きながら、教育環境を整えていきたいとの想考えております。同窓生の皆様には、今後とも本校を温かく見守っていただき、変わらぬご支援とご協力をいただきますようお願い申します。

祝卒業「生涯松陵生」

同志会会長 4回生 佐々木 貴弘

同志會報

第 36 号

令和2年2月28日
発行
宮城県泉松陵
高等学校同窓会
☎ 022-373-4125

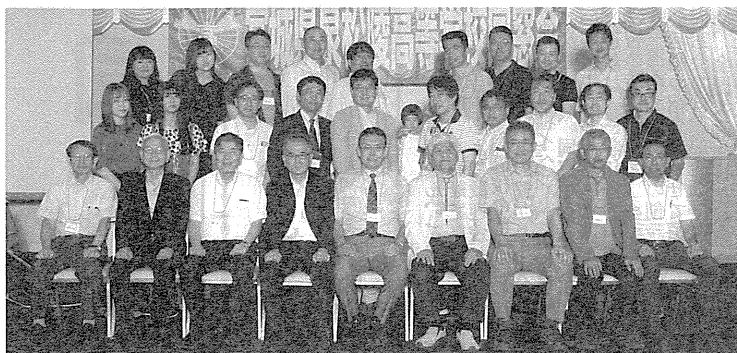
印 刷
創文印刷出版株
☎ 022-222-0181

「松陵支え人」が居ました。技師の鈴木忠宏さんは「親しみを込めて」として、毎年まで母校で母校に勤務されておりました。氏を知る同窓生にとっては我が家に帰ったような気持ちで再会を喜びました。同窓会でも校木（シンボルツリー）の再生を検討し、この現状を受け、ご自身の退い職に伴い、植樹をして下さったのが第14回

した。今後とも、母校支援に対し、より多くの同窓生、母校関係者のご理解、ご支援ご協力をお願いと共に、世代を超えた同窓生間の親睦立交、縦横のつながりを深め更には、これまでから卒業生として仲間入りする新同窓生の皆さんへの濃る力と心を合わせながら、母校に宮城県県松陵高等学校へ行きました。卒業先での就職や、卒業後は、同窓生として仲間入りする新同窓生の皆様への激励です。最後に、母校の皆様へお詫び申し上げます。

さるに、7月の松陵祭では「おもしろい」として、「昭和」時代の幕開け「平成」、そして「令和」へと3つの時代へ引き継がれ、これまでの歴史と伝統を受け継ぎながらも、自分たちの力で新たなる歴史の「1ページ」を開こうとする生徒たち。他の意気込みがひしと感じられるままでした。学校としても頑張りにされてしまいます。

さて、本校は少子化の影響で一昨年から1学級減となり、この4月によく全学年が6学級にそろいます。どのようす連絡と統移り変わりましても、これまで受け継がれてきた歴史と、脈々と受け継がれてききた伝統は、生徒の心にしっかりと根付いており、本校の教育は不变であります。この4月から令和3年と確信してあります。同窓会予定の創立40周年記念事業に向け、同窓生の皆様と連携しながら具体的に準



令和元年度 同窓会総会・懇親会 令和元年8月10日 於 ホテル白萩

36回生幹事長 佐々木保文
この度はご卒業おめでとうござい
ます。皆さんはこの泉松陵高校に入
学してからどのように過ごし、どの
ような思い出を作りましたか。定期
テストや文化祭、球技大会、マラソ
ン大会など思い返せばたくさんと思
い出があることでしょう。

さて、皆さんはこれから自分の將
來のためにそれぞれが決めた道へ進
んでいくことと思います。その際に
忘れてはならないのが、「自分はひ
とりではない」ということと「未来
に希望をもつ」ということです。自

卒業生へメッセージ

自分のこれからへの進路には多くの壁が立ちはだかることがあります。そのためには、やめてしまいたい、どうでもいいと逃げ出したくなることもあります。しかし、それは人間誰もがぶち当たる壁です。決して皆さんだけではありません。この壁を乗り越えて大人になっていくのです。では、この壁を乗り越えるためにはどうすればいいか。それは、「自分の周りには多くの仲間がいて、共に助け合う」ということです。高校を卒業し、離ればなれになつたとしても皆さんと同じ学舎で育つたという繋がりは消えません。辛くなつた、逃げたくなつた時にはいつでも仲間を頼ってください。頼ることは何も恥ではありません。それよりも人に頼ることが出来ず、自分の人生から逃げてしまふ方がよっぽど恥です。もう一度言います。頼ることは恥ではないです。どんな些細なことでも構いません。お互いを信頼し、支え合ってください。そして、そうした信頼や絆は社会に出たあとも消えることはなく、一生の宝物になることでしょう。また、皆さんの未来には大きな希望と不安が待っていることでしょう。しかし、高校の校歌にもあるように「みなぎる力 胸に秘め」これから明るい未来に希望を持ち、これから自分の将来に向けて頑張ってください。

さい。友達はあなたの相談を聞いて、答えを出してくれます。答えが出なくとも、一人で抱え込むよりも心が

見返して楽しかったなという気持ちを思い出し、また明日から頑張ろうという気持ちになれます。久しぶり

さい。友達はあなたの相談を聞いて、答えを出してくれます。答えが出なくて、一人で抱え込むよりも心が軽くなると思います。

見返して楽しかったなという気持ちを思い出し、また明日から頑張ろうという気持ちになります。久しぶりに友達と会って思い出話をするのもいいと思います。泉松陵高校に来てお世話になった先生方に相談するのもいいと思います。たくさんの苦労も思い出します。出会った時皆さんを支えてくれる人は沢山います。これからも頑張ってください。皆さんの活躍を心待ちにしています。

令和元年度
教職員人事異動

〔転出者〕
佐藤 浩之教頭（地歴公民）

大崎市立三本木中学校
(英語) 宮城県頬高校

太田 渡辺 康彦（理科）ご退職
明彦（地歴公民）聴覚支援学校へ

新川 弘人（国語）
櫻井 清浩（数学） 県工業高校へ
ご退職

斎藤 典子（英語）宮城野高校へ
早坂 美穂（養護）仙台商業高校へ

金子 正幸（副参事兼事務室長）
聴覚支援学校

小池 大夢（主事）

〔転入者〕

文弘教頭（数学）

齋藤	寧	(英語)
小栗	崇	(理科)
一 休	塩釜高校から	東山高校から
(数学)		

伊藤一 弘 (数学) 貞山高校から
赤井 烟淳子 (養護) 仙台商業高校から
菅原 春輝 (理科) 新規採用

菅原 春樹（玲和）新井扶月
昭雄（事務室長）

校で過ごした三年間は、どういったものだったのでしょうか。勉強や部活動、学校行事など沢山の思い出ができたのではないかと思います。この三年間での経験は、今後の人生の中で貴重な財産になることでしょう。この先の進路は、自分自身で選択してください。時に泉松陵高校で、学んだことを思い出してください。きっと皆さんのが助けてなることだと思います。

私自身、今大学生生活の中で責任重大な役職をしています。ゼミの代表、文化祭模擬店の責任者など団体をまとめる立場を担っています。自分の度に先生から頂いた言葉、学校生活で得たことを思い返すようになります。そうすることで、自信を持つて選択することがでています。皆さんも泉松陵高校にいたことを誇りに思ってください。一人一人の進路は、それぞれ別々です。しかし、泉松陵高校で三年間を過ごした皆さんには大きな輪の中にいます。

ここでできた友達という関係は、卒業してもずっと同じです。私の好きな漫画「ワンピース」の中で、「この世に生まれて一人ぼっちなんて事は絶対にない。」という言葉があります。正にその通りであると私は思います。精神的に、疲れたなと思ったときは、遠慮せずに友達に相談してください。頼ってみてください

最後にはなりますが、改めて皆さん、ご卒業おめでとうございます。私は皆さんの成長を、とても楽しみにしています。泉松陵高校から社会に出で、どのように人生を送るのか。卒業してからも、学びというのは続いていると思います。どうか、止まらずに歩み続けてください。

36回生副幹事長 伊藤 優華
卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。
泉松陵高校ですごした3年間はどうな3年間でしたか。普段の生活や勉強に部活、学校行事など、とても内容の濃い3年間を過ごせたかと思います。

様々な思い出の中で皆さんは成長出来たでしようか。部活で悔しい思いをした人、勉強でなかなか成績が上がらなかつた人、辛い時そばにいてくれた友人、人一倍本気で取り組んだ学校行事など皆さんの中に様々な思い出があると思います。

そんな思い出を大切にし、高校生活での経験を生かしてこれからもたくさん経験を積んで自分を高めていくください。

卒業して進学する人、就職する人それぞれの道に進むと思います。そこでの分かれ道で沢山苦労すると思います。その時には高校生活での思い出やお世話になった先生方、なにより「番身近にいてくれた仲間のことを思い出して力にして欲しいと思います。私も進学先で壁にぶつかった時、高校生活で撮った写真などを

今和元年度		教職員人事異動
〔転出者〕		佐藤 浩之教頭（地歴公民）
黒田 浩光	大崎市立三本木中学校へ	太田 康彦（理科）ご退職
櫻井 清浩	宮城広瀬高校へ	渡辺 明彦（地歴公民）聴覚支援学校へ
斎藤 典子	県工業高校へ	新川 弘人（国語）ご退職
早坂 美穂	宮城野高校へ	金子 正幸（養護）仙台商業高校へ
小池 大夢	（主事）	正幸（副参事兼事務室長）
七ヶ宿町立七ヶ宿中学校兼七ヶ宿小学校へ		聴覚支援学校へ
齋藤 文弘教頭	（数学）	〔転入者〕
小栗 崇	東松島高校から	伊藤 一弥（数学）村田高校から
赤井 畑淳子	（養護）塩釜高校から	菅原 春輝（理科）新規採用
菅原 昭雄	（事務室長）	吉田 浩貴（主事）県工業高校から
吉田 浩貴	（主事）仙台地方振興事務所から	

令和元年度 宮城県泉松陵高等学校同窓会会計予算書

収入の部 2,653,265円
支出の部 2,653,265円

収入の部 (単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
会 費	886,800	943,200	△56,400	@1,200×739名
入 会 金	270,000	271,000	△1,000	新卒生 @1,000×270名
年 会 費	540,000	542,000	△2,000	新卒生 @2,000×270名
繰 越 金	956,465	3,419,713	△2,463,248	
雜 収 入	0	0	0	
合 計	2,653,265	5,175,913	△2,522,648	

支出の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1 運 営 費	540,000	540,000	0	
会 議 費	150,000	150,000	0	総会費用・役員会時茶菓代
旅 費	70,000	70,000	0	監査・役員会旅費
慶弔費	30,000	30,000	0	弔意
需用費	60,000	60,000	0	会務用消耗品
通 信 費	230,000	230,000	0	総会案内用ハガキ・切手、同期会案内補助
2 事 業 費	1,660,000	3,660,000	△2,000,000	
報 償 費	160,000	160,000	0	卒業証書用ホルダー
会報発行費	500,000	500,000	0	会報印刷代、名簿発行代
積 立 金	1,000,000	3,000,000	△2,000,000	周年事業へ向けての積立金
3 予 備 費	453,265	975,913	△522,648	
合 計	2,653,265	5,175,913	△2,522,648	

「同窓会報のデジタル化」に伴い、「一四年度より年会費の振込用紙の送付も行なっておりません。年会費は、「一〇〇〇円」です。納入金額は任意ですが、二口目以降は、会運用の為、現役支援活動のため活用させて頂きます。合わせてまして、同一口座へのご入金をお願い申し上げます。
（※振込手数料に関しては、ご負担願い

【振込専用口座番号】

ゆうちょ銀行 02280-1-21997
皇松陵高等学校同窓会事務局

【他金融機関からの振込み口座番号】

ゆうちょ銀行 二二九(ニニキュウ)店 (229)
当座 0021997

平成30年度

宮城県泉松陵高等学校同窓会会計決算書

収入総額 5,219,133円
支出総額 4,262,668円
差引残額 956,465円

収入の部 (単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
会 費	943,200	936,500	△6,700	転退学者返金2,300円、未納4,400円
入 会 金	271,000	270,000	△1,000	退学者返金1,000円
年 会 費	542,000	577,920	35,920	同窓生37,920円、転退学返金2,200円
繰 越 金	3,419,713	3,419,713	0	
雑 収 入	0	15,000	15,000	会長より寄付、H29年度未納分
合 計	5,175,913	5,219,133	43,220	

支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
1 運 営 費	540,000	212,082	△327,918	
会 議 費	150,000	127,561	△22,439	総会費・役員会時茶菓代
旅 費	70,000	13,396	△56,604	役員会旅費、会計監査旅費
慶弔費	30,000	10,592	△19,408	正会員の香典、弔電代
需用費	60,000	0	△60,000	
通 信 費	230,000	60,533	△169,467	総会案内状送付用切手代
2 事 業 費	3,660,000	3,666,816	6,816	
報 償 費	160,000	131,500	△28,500	卒業証書用ホルダー代
会報発行費	500,000	535,316	35,316	会報印刷代
積 立 金	3,000,000	3,000,000	0	空調設備工事に充当
3 予 備 費	975,913	383,770	△592,143	空調設備工事に充当381,048円
合 計	5,175,913	4,262,668	△913,245	

積立金の部 (単位 円)

科 目	繰 越 金	預金利子	積立金	合 計	摘 要
諸事業準備金	10,915,628	1,021	0	10,916,649	

令和元年6月17日 監事 伊藤治子
監事 三本木久子

顧問	同窓会役員
会長	小野 裕介(13回生)
副会長	佐々木貴弘(4回生)
副会長	神尾 信治(5回生)
副会長	高崎 寿之(5回生)
会計	早坂 健(7回生)
幹事会	横山 仁志(12回生)
幹事会	山本 修(1回生)
幹事会	斎藤 方達(6回生)
幹事会	西條かおる(8回生)
幹事会	阿部 理史(30回生)
幹事会	菊池美美弥(30回生)
幹事会	永野晃太郎(32回生)
幹事会	佐藤 将(33回生)
幹事会	狩野 知花(33回生)
幹事会	優奈(35回生)

幹事 佐野 崇斗（35回生）
幹事 志賀 千紘（35回生）
幹事 佐々木保文（36回生）
幹事 青池 皆哉（36回生）
監事 三本木久子（6回生）
監事 伊藤 治子（7回生）
(同窓会役員を随時募集しています。同窓会運営にご協力頂ける方は、事務局まで。)

高総体、その他の大会結果